

先行県における並行在来線の状況

都道府県	青森県 (上下分離方式)		岩手県	長野県	熊本県・鹿児島県	
事業者	青い森鉄道(株)	青森県	IGRいわて銀河鉄道(株)	しなの鉄道(株)	肥薩おれんじ鉄道(株)	
鉄道事業種別	第2種 (列車を運行)	第3種 (鉄道を所有)	第1種 (鉄道を所有し、列車を運行)			
開業年月	H14. 12 [H22.12]		H14. 12	H 9. 10	H16. 3	
営業区間	目時～八戸 (7駅) [目時～青森] (26駅)		盛岡～目時 (18駅)	軽井沢～篠ノ井 (19駅)	八代～川内 (28駅)	
	25. 9km [121. 9km]		82. 0km	65. 1km	116. 9km	
単線・複線	複線		複線	複線	単線 (8.7kmのみ複線)	
電化・非電化	電化		電化	電化	電化 (旅客はディーゼル)	
貨物列車本数 (H23.3月ダイヤ)	50本		46本	6本 (坂城～篠ノ井間14.7kmのみ)	10本	
三セク開業時の 運賃引き上げ率	普通:1.37倍 通学:1.65倍※ 通勤:1.65倍 ※青森開業時は1.00倍		普通:1.58倍 通学:1.99倍※ 通勤:2.12倍 ※当面1.65倍に抑制	普通:1.10倍 通学:1.42倍 通勤:1.30倍	普通:1.28倍 通学:1.27倍 通勤:1.29倍	
輸送密度	⑱	1,105 人/日・km	3,401 人/日・km	7,224 人/日・km	913 人/日・km	
	⑳	1,032	3,205	7,182	883	
	㉑	990	3,023	7,002	831	
年間 輸送人員	⑳	619 千人	4,728 千人	10,216 千人	1,563 千人	
経営状況 (上段:当期 下段:(累積))	⑱	▲17 百万円 (▲115)	▲269 百万円 (－)	30 百万円 (▲374)	136 百万円 (▲595)	▲154 百万円 (▲683)
	⑳	▲59 百万円 (▲173)	▲278 百万円 (－)	18 百万円 (▲355)	217 百万円 (▲378)	▲126 百万円 (▲809)
	㉑	▲93 百万円 (▲266)	▲331 百万円 (－)	45 百万円 (▲310)	188 百万円 (▲189)	▲63 百万円 (▲871)
	㉒	▲106 百万円 (▲373)	▲767 百万円 (－)	▲104 百万円 (▲414)	204 百万円 (14)	▲268 百万円 (▲1,140)
	㉓	3 百万円 (▲369)	▲691 百万円 (－)	311 百万円 (▲103)	208 百万円 (223)	157 百万円 (▲983)

- (注) 1 青森県の[]書きは、新青森開業後の数値
2 駅数は境界駅を含む。
3 経営状況において、① 青森県の当期損益とは3セク会社に対する線路使用料減免額。
② 長野県の3セク会社の累積損益は、長野県が3セクへの貸付金103億円を放棄した後の数値。
4 輸送密度及び年間輸送人員は「鉄道統計年報」(青森・岩手はJR寝台特急を含む。)、経営状況は各社発表の「事業報告」より記載。
5 運賃引き上げ率は、他県聞き取りにより記載。